

新会館で新しい地域づくり

昭和56年11月に竣工した青葉会館は老朽化と地域の要望を受け、新会館の建設に昨年着工し、町内会の新年会を兼ねた落成祝賀式が1月10日に行われました。

落成式では請負業者に町内会から感謝状を贈呈。瀧町長のほか、来賓から祝辞が述べられました。

新会館は、建てる前に建設委員会を設け、地域の意見が採り入れられた住民皆さんの英知が詰まった建物です。玄関から土足で入ることができ、椅子にかけて会議ができます。出席した皆さんは新しい会館での新たな地域づくりを願っていました。



祝杯の発声

交通事故死ゼロの1年を願って

昨年、北海道における交通事故による死亡者数は218人で、5年連続全国最悪の事態を回避しました。また全国の交通事故による死亡者数は昭和27年以來57年ぶりの4,000人台(4,914人)となりました。

安平町では、1月10日に早来神社で安平町交通安全協会の役員や自治会の皆さんなどが集まり交通安全祈願祭が実施され、町内での無事故を祈願するとともに決意を新たにしました。



わが子の到達に驚く

1月13日から15日までの間、ときわ公園屋外スケートリンクで小学1年生から3年生までの初心者を対象に行なわれたスケート教室に30名ほどが参加しました。

スケート靴を履きリンクに上がることすらままならなかった初日は、氷の上を歩くのがやっと。転んでは立ち上がり、靴ずれの痛みにも耐え頑張った成果は指導者たちも驚くほどの上達ぶりで、見学していた保護者の方は「あんなに上手になるなんて」と驚いた様子でした。

悪天候でも好記録を目指して

1月16日ときわ公園屋外スケートリンクで胆振東部管内から40名が参加し、スピードスケート親睦記録会を開催。レースが始まると降り出す雪と風に見舞われたものの、2つの大会記録が誕生しました。全競技終了後は、地元スケート少年団の早来ジュニオール保護者によって参加選手と保護者、役員の方たちに豚汁が振舞われました。結果は次のとおりです。(安平町分のみ)

総合女子 小学6年2位 佐原桃華、中学1年1位 高山穂、2年1位 佐々木結衣、2位 高山菜摘・4位 竹田遥菜
総合男子 小学4年1位 曾根汰来郎、中学2年1位 中村隼人



連日盛況の利用状況

1月13日にオープンした安平山スキー場ですが、平日は学校の授業や自衛隊員の訓練のため使用。土曜や日曜日には一般の利用者がゲレンデでスキーやスノーボードを楽しんでいます。

週末は駐車場に止められない車が増えたため、急ぎよ除雪して駐車スペースを広げるほどの盛況振りで、管理人によると多い日は一日700人以上が来場したとのこと。今年積雪量が多く、雪質も良いので利用者から好評です。今後も皆さんが快適に滑ることが出来るように整備に努めたい」とスキー場で働く人たちは話していました。

